

## 目次

ショートカットキー及びショートカットメニューの使用 .....	1
ショートカットキー及びショートカットメニューの使用: イントロダクション .....	1
ショートカット キーについての参照 .....	1
ショートカット メニューについての参照 .....	23
<b>Windows</b> の標準ダイアログ ボックスでのショートカット メニュー .....	24
ツール バー エリアでのショートカット メニュー .....	25
グラフィックス表示ウィンドウでのショートカット メニュー .....	27
編集ウィンドウでのショートカット メニュー .....	42
レポート ウィンドウでのショートカット メニュー .....	67



# ショートカットキー及びショートカットメニューの使用

---

## ショートカットキー及びショートカットメニューの使用: イントロダクション

この付録では、PC-DMISで使用できるメニューオプション、ダイアログボックスおよびコマンドの多くへのショートカットを記載しています。ショートカットを使用すると、プログラム作成の時間が短縮され、生産性と効率の増加につながります。

この付録で記述されている、主な項目は以下の通りです。

- ショートカット キーの一覧
- ショートカット メニューについての参照

---

## ショートカット キーについての参照

このテーブルには、英語で利用できるショートカットキーのリファレンスを提供します。ショートカット キーについての内容説明の冒頭が *イタリック体*で始まる場合、そのショートカット キーが適切に機能するためには、*イタリック体*テキストの項目が、アクティブなウィンドウであるか、または、焦点の当たっている項目でなければなりません。各オプションの機能に関する特定の情報については、当文書の該当するセクションを参照して下さい。



**非英文のショートカット キー** キーボードは言語によって異なるため、非英語版で構築されたPC-DMISでは一部のショートカット キーの設定が異なる可能性があります。どのショートカットがPC-DMISの非英語ビルドに関連しているかを確認するには、カスタマイズダイアログボックスのキーボードタブを参照してください。このカスタマイズダイアログボックスにアクセスするには、ツールバーエリアで右クリックして、カスタマイズを選択します。キーボードタブを使用する情報については、「ユーザインターフェースのガイド」の章にある「ショートカットキーのカスタマイズ」を参照してください。

キー	内容	キー	内容	キー	内容
F1	オンラインヘルプにアクセスします。	Ctrl + A	編集ウィンドウ: すべてのテキストを選択します。  フォームおよびレポートエディタ: すべてのオブジェクトを選択します。	Ctrl + F1	PC-DMISを変換モードに置きます。
F2	編集ウィンドウ: カースルが式を	Ctrl + C	編集ウィンドウ: 選択されたテキストをコピーします。  フォームおよびレポートエ	Ctrl + F2	グラフィック表示ウィンドウ: PC-DMISを2D回転モードにします。  編集ウィンドウ: コマンドモード

## ショートカット キーについての参照

	入力できる行にある場合、 <b>式ビルダ</b> ダイアログボックスを開きます。		ディタ: 選択されたオブジェクトをコピーします。		にある場合、このショートカットは現在の行でブックマークを挿入または削除します。
F3	<b>編集ウィンドウ</b> 実行用のコマンドを選択 / 選択解除します。	Ctrl + D	現時点のフィーチャーを削除します。	Ctrl + F3	PC-DMISを 3D 回転モードにし、 <b>[回転]</b> ダイアログボックスを開きます。

	カーソルが外部オブジェクト上に存在する場合、F3は、印刷モードと実行モード間で切り換えを行います。				
F4	編集ウィンドウ: 編集	Ctrl + E	選別された要素かコマンド (この近道ショートカットをサポートす	Ctrl + F4	PC-DMISをプログラム モードに置きます。

## ショートカット キーについての参照

	ウィンドウの内容を印刷します。		るそれらのコマンドのため (の)を実行します。		
F5	セットアップオプションダイアログボックスにアクセスします。	Ctrl + F	自動フィーチャー ダイアログ ボックスが開きます。	Ctrl + F5	PC-DMISをテキスト ボックスモードに置きます。
F6	フォントセットアップダイアロ	Ctrl + G	編集ウィンドウ内に <a href="#">READPOINT/</a> コマンドを挿入します。	Ctrl + Tab	開いている特定のウィンドウ間で切り替えて次のウィンドウをアクティブにします。例えば、Basic スクリプ

	グボックスにアクセスします。				トエディター、グラフィック表示ウィンドウおよびレポートウィンドウ。  これが機能するにはウィンドウが開いている必要があります。
F7	編集ウィンドウ: 選択されたトグルフィールド内で次のアルファベット順エントリーに進	Ctrl + J	編集ウィンドウ: 参照されているコマンドにジャンプします。	Ctrl + Shift	選択されたグラフィカルな分析矢印を非表示にします。



## ショートカット キーについての参照

	みます。				
F8 (&E)	編集ウィンドウ: 選択されたトグルフィールド内で、後方に循環して最後のアルファベット順エントリを表示します。	Ctrl + K	編集レポート内で、選択された寸法を保存します。	Ctrl + End	編集ウィンドウ: 現時点での測定ルーチンの最後にカーソルを移動します。

F9	編集 ウィ ンド ウ: カー ソル の位 置に ある コマ ンド に関 連し たダイ アログ ボックス を開 きます。  (編 集ウ ィン ドウ の MODE コマ ンド の場	Ctrl + L	その時点で選 択された、コ マンドのブロ ックが実行さ れます。	Ctrl + Home	編集ウィンドウ: 現時点での測定 ルーチンの開始 点にカーソルを 移動します。
----	---	-------------	--	----------------	---

## ショートカット キーについての参照

	合、このキーはDCCモードと手動モードを切り替えます。)				
F10	パラメータ設定ダイアログボックスが開きます。	Ctrl + M	編集ウィンドウに <a href="#">MOVEPOINT</a> コマンドを挿入します。	Ctrl + Alt + A	パーツ配置ダイアログボックスが開きます。
F12	取付具の設定ダイアロ	Ctrl+N	新しい測定ルーチンを作成します。	Ctrl + Alt + L	QuickAlign機能を使用して自動整列を作成します。

	グ ボ ック ス が 開 き ま す 。				
SHIFT + 右クリッ ク	画 図 サ イ ズ 調 整 ダ イ ア ロ グ ボ ッ ク ス が 開 き ま す 。	Ctrl + O	測 定 ルー チ ン を 開 き ま す 。	CTRL + ALT + P	プ ロ ー ブ の ユー ティ リ ティ ダイ ア ロ グ ボ ッ ク ス を 開 き ま す 。
Shift + Tab	編 集 ウ ィ ン ド ウ : ユー ザー が 編 集 で き る 以 前 の フ ィ ー ルド	Ctrl + P	グ ラ フ ィ ッ ク の 表 示 ウ ィ ン ド ウ の 印 刷	Ctrl + Click	テ キ ス ト ボ ッ ク ス モ ー ド に お い て 、 グ ラ フ ィ ッ ク 表 示 ウ ィ ン ド ウ 内 の 要 素 ま た は ラ ベ ル ID 上 で こ の 動 作 を 行 う と 、 カー ソ ル が 編 集 ウ ィ ン ド ウ 内 の そ の 要 素 に 移 動 し ま す 。

## ショートカット キーについての参照

	にカーソルを戻します。				分析 ダイアログ ボックスが開いた状態で、この動作を行うと、それは関連した寸法すべてを選択します。
SHIFT + 矢印	カーソルが移動して、すべてのテキストがハイライト表示されます。	Ctrl + Q	編集ウィンドウ: 現時点の測定ルーチンを実行します。	Ctrl + Shift + H	編集ウィンドウ: グラフィック表示ウィンドウで選択した要素を強調表示します。
Shift + F5	編集ウィンドウ: 寸法の取込み	Ctrl + R	回転ダイアログ ボックスが開きます。	Ctrl + Shift + U	編集ウィンドウ: グラフィック表示ウィンドウから選択された要素の強調表示をクリアします。

	点の表示をデカルト座標と極座標間で変更します。'P'文字は極座標表示モードを示します。				
Shift + F6	編集ウィンドウ：コマンドモードにある	Ctrl + S	現時点の測定ルーチンを保存します。	アップ矢印	編集ウィンドウ：現在の位置の上にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。

## ショートカット キーについての参照

	場合、[色エディタ]ダイアログボックスを開きます。				
Shift + F10	編集ウィンドウ: ジャンプ先ダイアログボックスにアクセスします。	Ctrl + T	編集ウィンドウ: その時点でのコマンドを (または、選択されたコマンド) アーム 1、アーム 2 またはその両方に割り当てます。	ダウン矢印	編集ウィンドウ: 現在の位置の下にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。
終了	要素の測	Ctrl + U	編集ウィンドウ: カーソル	右矢印	編集ウィンドウ: 現在の位置の右

	<p>定を終了します。</p> <p><b>編集ウィンドウ:</b> 現在の線の終端にカーソルを移動します。</p>		<p>の所在位置から、測定ルーチンを実行します。</p>		<p>側にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。</p> <p>要約モードにおいて、このショートカットは折り畳まれた一覧を展開します。</p>
ホーム	<p><b>編集ウィンドウ:</b> 現在の行の最初にカーソルを移動し</p>	Ctrl + V	<p><b>編集ウィンドウ:</b> クリップボードの内容を貼り付けます。</p> <p>フォームおよびレポートエディタ: コピーされたオブジェクトを貼り付けます。</p>	左矢印	<p><b>編集ウィンドウ:</b> 現在の位置の右側にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。</p> <p>要約モードにおいて、このショートカットは展開された一覧を折り畳みます。</p>



## ショートカット キーについての参照

	ます。 。				
Tab	編集ウィンドウ: 次のユーザーが編集できるフィールドにカーソルを移動します。	Ctrl + X	編集ウィンドウ: 選択されたテキストを切り取ります。 。 フォームおよびレポートエディタ: 選択したオブジェクトを切り取ります。	ALT + "-" (マイナス)	ALTに続いて、マイナス キーを押すと、ヒットバッファ内の直前のヒットを削除します。
ESC	入力キーが押される前に、このキーが押	Ctrl + Y	編集ウィンドウ: 以前に取り消された実行を再開します。	Alt + C	<b>ClearanceCube</b> ダイアログボックスを表示します。

	されると、すべてプロセス(データエントリー以外)が中止されます。				
削除する	編集ウィンドウ: 「バックスペース」を参照して下さい。	Ctrl + Z	スケール適合機能をアクティブにします。	Alt + H	ヘルプメニューにアクセスします。
Backspace	編集ウィ	Ctrl + Enter	編集ウィンドウ: 要約モー	Alt + J	編集ウィンドウ: 参照されている

## ショートカット キーについての参照

	ンド ウ: ハイ ライ ト表 示さ れた 文字 すべ てを 削除 しま す。 ハイ ライ ト表 示さ れた もの がな い場 合に は、 普通 のエ ディ タ内 と同 じよ うに 機能	または Return キー	ドにおいて、 このキーボー ドのショート カットを用い ると、編集ウ ィンドウに追 加するコマン ドを選択する ことができま す。		コマンドからジ ャンプして戻り ます。
--	--	---------------------	--	--	---------------------------

	<p>します。 項目を削除できない場合、エラーメッセージが表示されます。</p>				
<p>Enter または Return</p>	<p>編集ウィンドウ: カーソルが行から移動する前に、完了してい</p>	<p>Ctrl + Click</p>	<p>グラフィック表示ウィンドウ: CADオブジェクト（サーフェスなど）を複数選択します。 CAD オブジェクトがすでに選択されている場合、このショートカットはそのオブジェクトを</p>	<p>Alt + P</p>	<p>グラフィック表示ウィンドウ: 全ての測定ルーチン用のプローブの現在のパスを描画します。</p>

## ショートカット キーについての参照

	ない場合に自動削除される新しい空白行を作成します。 コマンドを選びます。		選択解除します。		
Shift + F4	機械インターフェイスの設定を開始します。	Ctrlキー+左マウスドラッグ	マウスがリリースされる時、ダイアログボックス、または、ツールバーを、インターフェイス内にドッキングすることなく、ドラッグします。	Alt + Shift + P	グラフィック表示ウィンドウ: カーソル位置の前後要素のプロープの現在のパスを描画します。

SHIFT + 右クリック	レポートウィンドウのラベルオブジェクト: レポートダイアログボックスを表示します。	Ctrlキー+左マウスドラッグ  (また、中心のホイールボタンをクリックしてドラッグして下さい)	グラフィック表示ウィンドウ: 3DでCADモデルを回転します。	Alt + F3	編集ウィンドウ: 検索ダイアログボックスを開きます。
SHIFT + クリック	グラフィックの表示ウィンドウ: ハイライト表	Ctrl + Shift + F	ウィンドウの編集: これはコマンドモードでのみ機能します。  このオプションで、グラフィック表示ウィンドウで選択した要素コ	Alt + Backspace	編集ウィンドウ: 編集ウィンドウ内で行われた、直前の操作を取り消します。

## ショートカット キーについての参照

	示の CAD 要素 に基づ いて、 自動 要素を 作成し ます。 。		マンドおよび それらのIDの 表示を切り換 えることがで きます。また 、これを GROUPコマ ンドで使用し て、グループ 内の要素の表 示を切り換え ることができます。		
Ctrl + F6  または  Ctrl + Shift + F6	開い ている特 定のウ ィンド ウ間で切 り替 えて次 のウ ィンド ウをアク ティ ブにし ます。	ALT + クリッ ク	グラフィック 表示ウィンド ウ: CADアセ ンブリダイ アログボック スが開いた状 態で、グラフ ィック表示ウ ィンドウで Altキーを押 しながら CADオブジ ェクトを左ク リックすると 、このショ ートカットがツ リービューで その対応する コンポーネン	Shift + Backspace	編集ウィンドウ: 編集ウィンドウ 内で取り消され た、直前の操作 を再実行します 。

	<p>例えば、グラフィック表示ウィンドウやレポートウィンドウ。</p> <p>これが機能するにはウィンドウが開いている必要があります。</p>	<p>トを強調表示します。</p>		
--	---	-------------------	--	--



## ショートカットメニューについての参照

				Alt キー+ 右マウス ドラッグ	グラフィック表示ウィンドウ:マウスがドラッグされると、グラフィックス表示ウィンドウ内で2DでCADモデルを回転します。
				ALT + クリック	グラフィックス表示ウィンドウ:編集ウィンドウの基本となる要素のマックされた状態を切り替えます。

### 関連トピック：

コマンドモードのショートカットキー

要約モードのショートカットキー

---

## ショートカットメニューについての参照

ショートカットメニューは、ユーザーインターフェイスの特定のエリアを右クリックしたときに表示されるコンテキストメニューです。この項は、各種ショートカットメニューへのアクセス方法と、様々なメニュー オプションの機能を説明します。

## Windowsの標準ダイアログ ボックスでのショートカットメニュー

Windowsのダイアログボックス（例えば、**オープン**、**保存**、および印刷ダイアログボックスなど）に存在する標準コマンド以外にも、PC-DMISは一定の条件でショートカットメニューに機能を追加することができます。これらの多くは「高度なファイルオプションの使用」及び「基本的なファイルオプションの使用」で説明されています。

他のファイル オペレーションを開き、保存し、または、使用している時、以下のショートカット メニューのオプションを表示するには、ダイアログ ボックスに一覧表示されている、その測定ルーチンのファイル名を右クリックして下さい。

### PC-DMIS インポート

選択された測定ルーチン内に、入力ファイルからのデータをインポートします。「詳細なファイルオプションの使用」章にある「CADデータ及び要素データのインポート」を参照して下さい。

### PC-DMISのエクスポート

選択された測定ルーチンから、出力ファイルヘデータをエクスポートします。「詳細なファイルオプションの使用」章にある「CADデータ及び要素データのエクスポート」を参照して下さい。

### 開く

測定ルーチンを開きます。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「既存の測定ルーチンを開く」を参照して下さい。

### 切り取り

測定ルーチンを切り取り、それをクリップボードに移動します; これは、切り取られたファイルを別のフォルダ内に配置するために Windowsの貼り付け コマンドと共に使用されます。

### コピー

測定ルーチンをコピーし、それをクリップボードに移動します; これは、コピーされたファイルを別のフォルダ内に配置するために **貼り付け コマンド**と共に使用されます。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「ファイル操作の実行」を参照して下さい。

### 改名

測定ルーチンの名前を変更します。

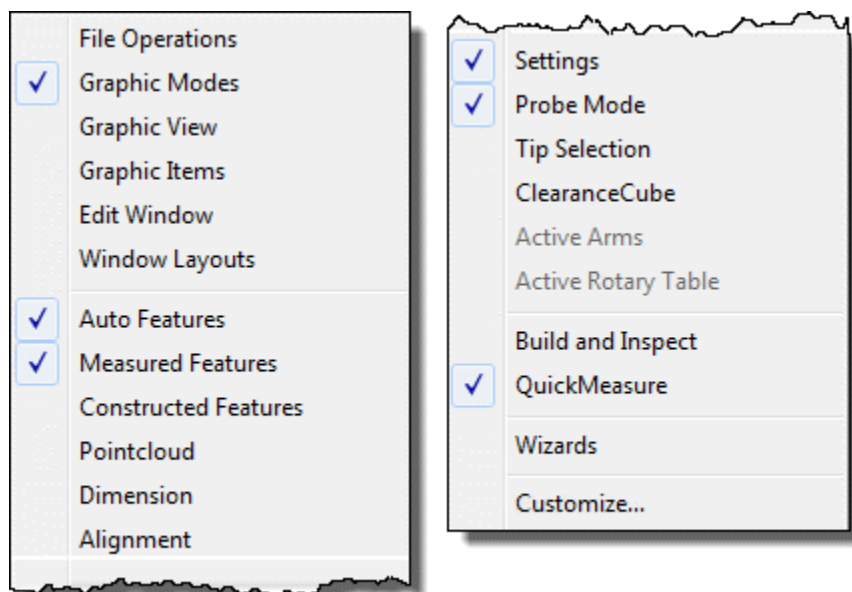
## ショートカットメニューについての参照

### 削除

測定ルーチンを削除します。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「ファイル操作の実行」を参照して下さい。

## ツールバーエリアでのショートカットメニュー

ツールバーエリアを右クリックすると、PC-DMISは即座にアクセスできるツールバーとその他のオプションの一覧を表示します。これらのオプションは、以下のとおり:



以下のオプションが利用できます:

### ファイル操作

ツールバーエリアに対して**ファイル操作**ツールバーを追加または削除します。

### グラフィックモード

グラフィックモードツールバーをツールバーエリアに対して追加および削除します。

### 編集ウィンドウ

編集ウィンドウツールバーをツールバーエリアに対して追加および削除します。

### ウィンドウレイアウト

ウィンドウのレイアウトツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **要素の自動作成**

要素の自動作成ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **測定された要素**

測定された要素ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **構築された要素**

構築された要素ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **PointCloud**

PointCloudツールバーをツールバーのエリアに対して追加または削除します。

#### **測定結果**

測定結果ツールバーをツールバー エリアに対して追加または削除します。

#### **アライメント**

アライメントツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **設定**

設定ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **プローブモード**

プローブモードツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **チップ選択**

チップ選択ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **ClearanceCube**

ClearanceCubeツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **アクティブアーム**

アクティブアームツールバーをツールバー エリアに対して追加または削除します。  
。

#### **アクティブな回転テーブル**

アクティブな回転テーブルツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

#### **作成と検査**

作成と検査ツールバーをツールバーエリアににに対して追加または削除します。

## ショートカットメニューについての参照

### QuickMeasure

特定の**QuickMeasure**ツールバー(CMM QuickMeasure ツールバー、Portable QuickMeasure ツールバー、Vision QuickMeasure ツールバー、QuickCloud ツールバー)をツールバーエリアにに対して追加または削除します。

### ウィザード

ウィザードツールバーをツールバーエリアにに対して追加または削除します。

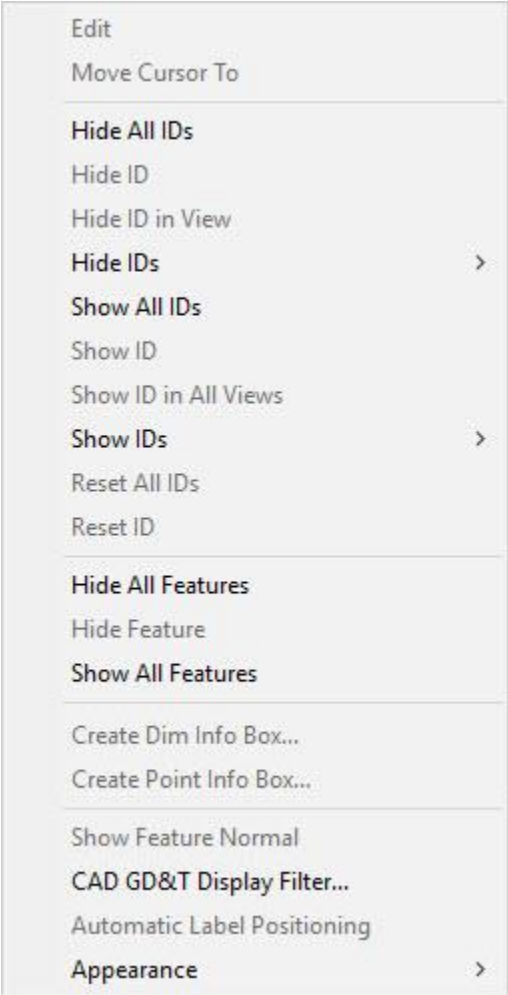
### カスタマイズ

特別な要件を満たすために、ツールバー、及び、メニューをカスタマイズします。「ユーザーインターフェースの利用」の章にある「ユーザーインターフェースのカスタマイズ」を参照して下さい。

ツールバーに関する情報については、「ツールバーの使用」の章を参照してください。

## グラフィックス表示ウィンドウでのショートカットメニュー

以下のショートカットメニューは、空きスペースを右クリックして、グラフィック表示ウィンドウ (表示 | グラフィック表示ウィンドウ) 内部で使用できます。



オプション	トピックで説明しています
編集	フィーチャー ショートカット メニュー
カーソルの移動先	フィーチャー ショートカット メニュー
すべてのIDを非表示にする	フィーチャー ショートカット メニュー

## ショートカットメニューについての参照

IDを隠す	フィーチャー ショートカット メニュー
ビュー内のIDを隠す	フィーチャー ショートカット メニュー
表示しないID	フィーチャー ショートカット メニュー
すべてのIDを表示	フィーチャー ショートカット メニュー
ID を表示	フィーチャー ショートカット メニュー
すべてのビューでIDを表示	フィーチャー ショートカット メニュー
表示するID	フィーチャー ショートカット メニュー
すべてのIDをリセット	フィーチャー ショートカット メニュー
IDの再設定	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての幾何学要素	フィーチャー ショートカット メニュー

を表示 しない	
要素を 隠す	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての 要素を 表示	フィーチャー ショートカット メニュー
測定結 果情報 ボックスの作 成	フィーチャー ショートカット メニュー
点情報 ボックスの作 成	フィーチャー ショートカット メニュー
要素公 称値の 表示	要素の標準オプションの表示  このトピックは「CAD表示の編集」章にあります。
CAD GD&&T 表示フィ ルタ	フィーチャー ショートカット メニュー
ラベルの 自動配 置	フィーチャー ショートカット メニュー
外観	フィーチャー ショートカット メニュー

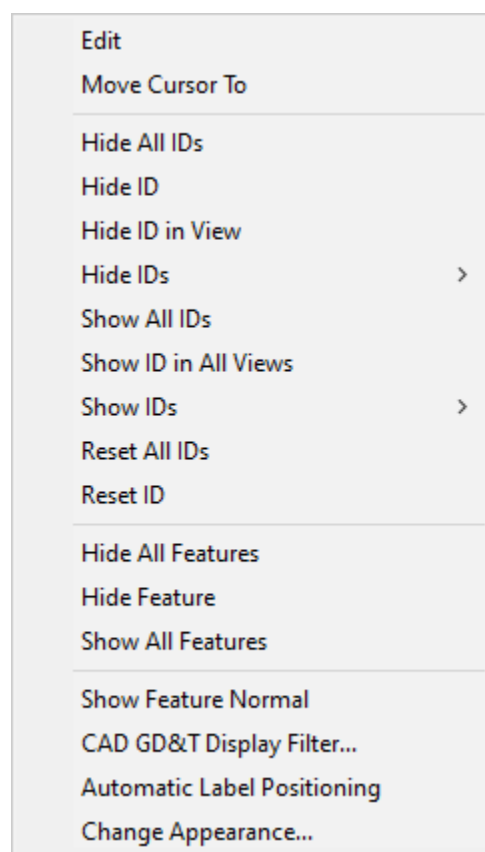


## ショートカットメニューについての参照

追加メニューオプションは特定エリアを右クリックする場合にのみ使用可能になります。詳しくは、以下のトピックを参照してください。

## 要素ショートカットメニュー

このショートカットメニューにアクセスするには、グラフィック表示ウィンドウから、要素のIDラベル、測定結果情報ボックス、点情報ボックス、またはCAD GD&Tコールアウトを右クリックします。また、グラフィック表示ウィンドウで任意の場所を右クリックすると、これらのオプションの多くを表示することができます。



GD&T コールアウトを右クリックすると、これらの同じメニュー項目の多くが表示されますが、この場合メニュー項目の表示または非表示しか機能しません。

以下のオプションが利用できます:

## 編集

このメニューオプションを選択すると、編集ウィンドウで基になるコマンドに対する適切なダイアログボックスが開き、ダイアログボックスを使用してそのコマンドを編集することができます。

従来のグラフィックラベルでの測定結果情報ボックスの場合、これは通常どおり**測定結果情報の編集**ダイアログボックスを開きます。より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」章の「測定結果情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

新しいグラフィックラベルでの測定結果情報ボックスの場合、これはそのラベルに対する**プロパティ**ダイアログボックスを開いて、**テンプレートパス**フィールドにある基本テンプレートへのパスを表示します。

**要素の外観**ダイアログボックスにおける**従来のグラフィックラベル**を使用チェックボックスで、ソフトウェアが使用するグラフィックラベルを変更することができます。このダイアログボックスについて詳しくは、「CAD表示の編集」章にある「要素の外観の編集」トピックを参照して下さい。

## カーソルの移動先

編集ウィンドウ内で編集ウィンドウのカーソルをこの要素のコマンドラインに移動するには、このメニューオプションを選択します。これは、編集ウィンドウのカーソルの位置のみに作用し、グラフィックの表示ウィンドウのプロープの位置は変わりません。

## すべてのIDを非表示にする

- すべての要素に対するすべての要素ラベル、測定結果情報および点情報を非表示にします。

## IDを非表示にする

このメニューオプションを選択すると、グラフィック表示ウィンドウにある1つのIDラベルが非表示になります。隠されたラベルはまだ存在しており、単にビューから隠れているだけです。

### **ビューでIDを非表示にする**

これは現在のビューのみで選択した要素のIDラベルを非表示にします。他のビューでは表示されたままになります。

### **IDを非表示にする**

このサブメニューでは異なる要素のIDラベルを非表示にすることができます。非表示にするIDラベルは依然として存在し、ビューから非表示になっているだけです。

以下のIDラベルの種類から表示、非表示にするものを選択できます。

- **要素ラベル** - すべての要素のすべての要素ラベルを非表示にします。
- **ビューで表示されている要素ラベル** - 現在のビューで表示されるすべての要素のすべて要素ラベルを非表示にします。
- **測定結果情報** - すべての要素のすべての測定結果情報を非表示にします。
- **点情報** - すべての要素のすべての点情報を非表示にします。

### **すべてのIDを表示する**

- すべての要素に対するすべての要素ラベル、測定結果情報および点情報を表示します。

### **すべてのビューでIDを表示**

すべてのビューで、選択した要素のIDラベルを表示します。

### **IDを表示する**

このサブメニューでは異なる要素IDラベルを表示することができます。詳細については、上記のIDを非表示にするドキュメントを参照してください。表示メニュー項目はそれらの「非表示」メニュー項目の逆のを行います。

### **IDをすべてリセット**

このオプションを選択すると、すべてのIDラベルが各要素の隣にある元の位置に戻ります。

### **IDのリセット**

このオプションは、1つの要素ラベルを要素の隣の元の位置に戻します。

### **要素をすべて非表示にする**

このオプションを選択すると、パート上の要素をすべて非表示にしてグラフィック表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。

### 要素を非表示

このオプションを選択すると、1つの要素を非表示にしてグラフィック表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。

### 要素をすべて表示

このオプションを選択すると、以前に隠されていた要素すべてをグラフィックの表示ウィンドウに表示します。



- [すべての要素を非表示にする]、[要素を非表示にする] および [すべての要素を表示する] を選択すると、要約モードの編集ウィンドウにおいてアイコン もオンまたはオフになります。
- [IDを非表示にする] と [IDを表示する] を選択すると、Point Infos、Dimension Infos、Datums、Pointclouds、MeshおよびBasicスキャンコマンドでのみアイコン もオンまたはオフになりますが、要素ではこのアイコンはオンまたはオフになりません。

### 要素垂線を表示

詳しくは、「CAD表示の編集」章の「要素垂線オプションの表示を参照してください。

### CAD GD&T 表示フィルタ

このメニューオプションでは、どのCAD GD&T キャプションを表示するかフィルタリングすることができます。CADモデルに埋め込まれたCAD GD&T情報が含まれている場合、これはショートカットメニューに表示されます。「CAD表示の編集」章の「CAD GD&Tコールアウトを使用した操作」を参照して下さい。

### 自動ラベル配置

このメニューオプションを使用すると、現在のビューのエッジ周辺で要素のIDラベルの自動配置を一括で実行できます。

### 外観を変更する

このメニューオプションは [ラベルオプションを変更する] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、グラフィック表示ウィンドウにおける様

## ショートカットメニューについての参照

々なラベルの外観を変更することができます。要素IDラベル、測定結果情報ボックスおよび点情報ボックスという3種類のラベルタイプがあります。

当ダイアログ ボックスには、以下の項目があります：

### 背景色

このボックスでは、[色] ダイアログボックスが開いてラベルの背景色を変更できるようになります。

### 背景の透明度

このスライダーまたはその右にあるボックスを使うと、ラベルの背景色の透明度レベルを調整できます。値は 0 (不透明)～100 (完全に透明) を取ります。

### 線の色

このボックスでは、[色] ダイアログボックスが開いてラベルの枠線色を変更できるようになります。


### 影の表示

このチェックボックスはラベルの下に小さな影を表示します。

すべてのタイプに、または現在のラベルタイプのみに変更を適用することができます。

デフォルト設定を変更するには、[デフォルト] ボタンをクリックします。

## テキストボックスモードでの要素のショートカットメニューの追加

テキストボックスモード () では、PC-DMISはこれらの追加オプションを標準の要素ショートカットメニューに追加します。

### IDを表示

選択された要素のラベルを表示します。(これはラベルが非表示である要素の近くで右クリックする場合にのみ使用することができます。)

### 寸法作成情報のボックス

このオプションを選ぶと、ハイライトされた要素から[寸法情報]テキストボックスが作成されます。[測定結果情報の編集]ダイアログボックスが表示され、測定結果情報テキストボックスを作成できる使用可能な測定結果を表示します。

要素に寸法が1つも関連付けられていない場合、PC-DMISはその要素に対してデフォルトの位置の寸法を自動的に作成します(「旧式寸法の使用」章の「位置の測定」を参照してください)。この[寸法情報の編集]ダイアログボックスの使用に関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」章の「寸法情報ボックスの挿入」を参照して下さい。


### 点作成情報ボックス

このメニューオプションを選ぶと、ハイライトされた要素から[点情報]テキストボックスが作成されます。[点情報の編集]ダイアログボックスが表示され、[点情報]テキストボックスを作成できる要素（および使用可能な測定結果）を表示します。この[点情報の編集]ダイアログボックスを使用して[点情報]テキストボックスを作成することに関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」の章にある「点情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

これらの追加されたオプションにアクセスするには

1. テキストボックスモードアイコンを選択します。詳細情報については、「CAD表示の編集」章の「テキストボックスモード」トピックを参照して下さい。
2. グラフィックの表示ウィンドウ内で、要素または要素のIDラベルを右クリックし、ショートカットメニューを表示します。

### テキストボックスモードでの測定結果/点情報メニュー

テキストボックスモード()にあるとき、[測定結果情報]ボックスまたは[点情報]ボックスを右クリックすると、PC-DMISは標準の要素ショートカットメニューに次の2つのオプションを追加します：

#### 編集

このオプションでは、選択した[寸法情報]または[点情報]テキストボックスを編集できます。若干変更された[寸法情報の編集]または[点情報の編集]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの下部に並んだ標準ボタンに加え、追加の[すべてに適用]ボタンを使用できます。

すべてに適用をクリックすると、ダイアログボックスで行われた変更をすべての寸法情報やポイント情報ボックスに適用されるようにします。



変更情報ボックスに対して元から作られた変更のみがすべての測定結果情報または点情報ボックスに適用されます。既に別の情報ボックスと異なっているオリジナルの情報ボックスの設定は他の情報ボックスには適用されません。

より詳しい情報については、「レポート コマンドの挿入」の章の「測定結果情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

### 削除

このメニューオプションを選ぶと、選択された寸法または点情報テキストボックスを削除することができます。編集ウィンドウに対応のPOINTINFO または DIMINFO コマンドも削除されます。

これらの追加されたオプションにアクセスするには

1. [テキストボックスモード]アイコンを選択します(「CAD表示の編集」の章にある「テキストボックスモード」を参照して下さい)。
2. グラフィックの表示ウインドウの寸法情報または点情報ボックスを右クリックします。


### 関連トピック

レイアウト

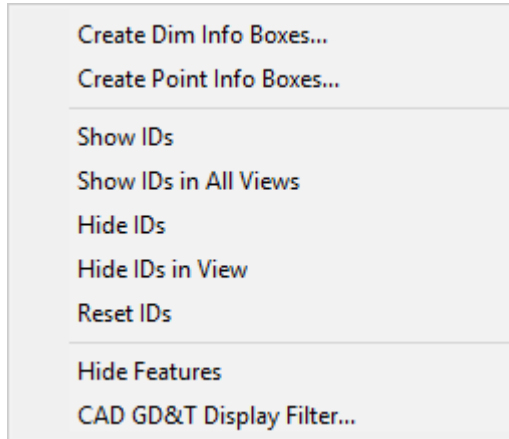
## ボックス選択ショートカットメニュー

このショートカットメニューはテキストボックスモードでのみ使用できます。

このメニューにアクセスするには以下の手順に従います。

1. グラフィックモードツールバーからテキストボックスモードアイコン () を選択します。このモードについて詳しくは、「CAD表示の編集」章の「テキストボックスモード」を参照して下さい。
2. 1つまたは複数の要素をボックス選択して、ボックス内部のすべてのグラフィック要素または要素 ID ラベルを選択します。

次のオプションを持つショートカットメニューが現れます:



以下のオプションが利用できます:

#### 寸法情報ボックスを作成

このメニュー オプションを選ぶと、選択した要素から[測定結果情報]テキスト ボックスが作成されます。

PC-DMIS は強調表示された要素の1つに対する**測定結果情報の編集**ダイアログボックスを表示します。最初の測定結果情報ボックスを作成できる使用可能な測定結果を表示します。

[**測定結果情報の編集**]ダイアログで希望のオプションを選択すると、[OK]または[作成]ボタンをクリックして、測定結果情報ボックスが作成します(編集する場合は[適用] ボタンを押します)。

PC-DMIS は**測定結果情報の編集**ダイアログボックスで選択された任意の測定結果から最初の測定結果情報ボックスを作成します。

PC-DMIS は各要素に関連したすべての測定結果から後続の情報ボックスを作成します。

測定結果がどの要素にも関連していない場合、PC-DMISはその要素に対してデフォルト位置の測定結果を作成します(「従来の測定結果の使用」章の「位置の測定」を参照してください)。この[**寸法情報の編集**]ダイアログボックスの使用に関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」章の「寸法情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

#### ポイント情報ボックスを作成

このメニュー オプションを選ぶと、ハイライト表示した要素から[点情報]のテキスト ボックスが作成されます。PC-DMIS は強調表示された要素の1つに対する**点情報の編集**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスは [点情



報] テキストボックスを作成できる要素（および使用可能な測定結果）を表示します。

**[点情報の編集]** ダイアログボックス内の希望のオプションを選択したら、情報ボックスの作成のために**OK**または**作成**ボタンのいずれかを選択して下さい（編集する場合は**適用**ボタンを押してください）。

PC-DMIS は**点情報の編集**ダイアログボックスで選択された要素または測定結果（複数可）から最初の情報ボックスを作成します。PC-DMIS は各要素に関連したすべての測定結果と要素自体から、後続の点情報ボックスを作成します。点情報ボックスがすべての測定結果と要素の取込み点に対して作成されます。この**[点情報の編集]**ダイアログボックスを使用して**[点情報]**テキストボックスを作成することに関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」の章にある「点情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

### **IDラベルの表示、非表示**

これらのメニューオプションの1つを選択すると、選択されたすべての要素を表示、または非表示します。IDラベルを隠すよう選択しても、IDラベルはまだ存在しビューから隠れるだけです。

### **IDラベルをすべてのビューに表示**

このオプションを選ぶと、利用可能なグラフィックス表示ウィンドウの画像区画のすべてで、選択された全IDラベルが表示されます。

### **IDラベルをビューから隠す**

このオプションを選ぶと、その時点でのグラフィックス表示ウィンドウの画像区画において、選択された全IDラベルを隠します。

### **IDラベルのリセット**

このオプションを選択すると、選択したIDラベルがすべて各要素の隣にある元の位置に戻ります。

### **要素の隠し**

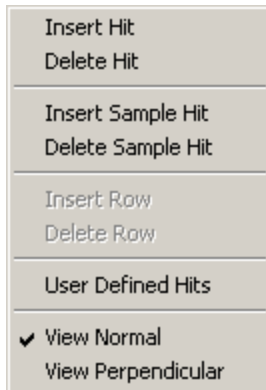
このオプションを選択すると、パート上で選択した要素すべてを隠し、それらをグラフィックの表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。


### **CAD GD&T 表示フィルタ**

このメニューオプションでは、どのCAD GD&T キャプションを表示するかフィルタリングすることができます。CADモデルに埋め込まれたCAD GD&T情報が含

まれている場合、これはショートカットメニューに表示されます。「CAD表示の編集」章の「CAD GD&Tコールアウトを使用した操作」を参照して下さい。

## 自動フィーチャー パス ライン ショートカット メニュー



このショートカットメニューにアクセスするには、要素の自動作成ダイアログボックス (挿入 | 要素 | 自動 | <要素タイプ>)内のヒットターゲットの表示を切り替えボタン  を選択します。

以下のオプションが利用できます:

### ヒットを挿入

自動要素に追加のヒットを挿入します。

### ヒットを削除

自動要素から選択したヒットを削除します。

### サンプル ヒットを挿入

自動要素にサンプルヒットを挿入します。

### サンプル ヒットを削除

自動要素から選択したヒットを削除します。

### 行を挿入

円筒や円錐など、複数行のヒットを使用する要素を使って作業している場合、別のヒットの行を挿入します。

### 行の挿入

円筒や円錐など、複数行のヒットを使用する要素を使って作業している場合、選択したヒットの行を挿入します。

### ユーザ定義のヒット

マウスを用いて、ヒットや経路に手動で変更する時には、常に、このメニューオプションが自動的に選択されます。

その後、このメニューを選択解除すると、PC-DMISは、これまでの変更内容を廃棄し、それ以前の状態に戻します。

それに加え、このオプションをヒット用に選択し、それから、[横から垂直に表示]を用いて、そのフィーチャーを横から垂直に表示する場合、その特定のヒットの深さや高さを調整することが可能です。それに加え、このオプションをヒット用に選択し、それから、[横から垂直に表示]を用いて、そのフィーチャーを横から垂直に表示する場合、その特定のヒットの深さや高さを調整することが可能です。

### ビューノーマル

これは要素のCADビューを真上からのビューに変更します。

### 垂直ビュー

これは、要素のCADビューを横方向からのビューに変更し、要素の深さを定義したり追加レベルのヒットを追加する場合に理想的です。

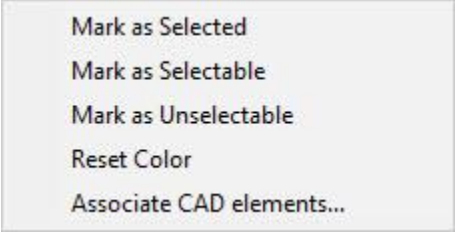
## CAD GD&T吹き出しショートカットメニュー

このショートカットメニューを使用して、CAD GD&T吹き出しを異なる色に設定して、現在の吹き出し（選択済、選択可能、または選択解除）の状態をよりよく伝えることができます。

このメニューにアクセスするには、ソフトウェアがGD&T選択モードになっている必要があります。このモードを有効にするには、グラフィックモードツールバーから**GD&**

**T選択モード**（）を有効にします。

CAD GD&Tコールアウトを右クリックすると、メニューオプションが表示されます：



Mark as Selected  
Mark as Selectable  
Mark as Unselectable  
Reset Color  
Associate CAD elements...

- **選択したことにマークする** - このコールアウトを選択したことを示すようにコールアウトの色を灰色に変更します。
- **選択可能にマークする** - これにより、コールアウトの色が選択可能な色に変更され、このコールアウトが選択可能であることを示します。
- **選択不能にマークする** - これは、コールアウトの色を無効な（選択不能な）色に変更し、このコールアウトが無効で選択できないことを示します。
- **色をリセット** - これはモデルをインポートしたときに、コールアウトの色を元の色に戻します。
- **CAD要素の関連付け** - これはダイアログボックスを開き、GD&T CADコールアウトをモデル上のCAD要素に手動でリンクすることができます。詳細については、「CAD表示の編集」章の「CAD GD&T CADコールアウトの使用」の「CAD GD&T CADコールアウトをCAD要素に関連付ける」を参照してください。

## 編集ウィンドウでのショートカットメニュー

PC-DMISの編集ウィンドウは、ユーザーが選択する編集ウィンドウモードによって変わりますが、以下のショートカットメニューから成ります。

### 要約モード コマンド ショートカット メニュー

ユーザが編集ウィンドウの要約モード（「編集ウィンドウの使用」の章の「要約モードを使用した操作」を参照）でコマンド項目を選択して、コマンド項目の上で右クリックすると、コマンドショートカット・メニューが現れます。このメニューには、以下のオプションがあります：

## ショートカットメニューについての参照

Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Copy Parameters	Ctrl+Alt+C
Paste	Ctrl+V
Paste Parameters	Ctrl+Alt+V
Delete	Del
Path	▶
Execute	▶
Edit...	F9
Feature	▶
Add Command...	Ctrl+Enter
Rename Feature IDs...	
Group	
Collapse Groups	
Expand Groups	
<input checked="" type="checkbox"/> Docking View	

### 要約モード コマンド ショートカット メニュー

以下のオプションが利用できます:

#### 切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl + X)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードから切り取られ、測定ルーチンから除去されます。

#### コピー (ショートカット キーのストローク: Ctrl + C)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードにコピーされます。

#### パラメーターのコピー (ショートカットキー: Ctrl + Alt + C)

このオプションを選ぶと、選択されたパラメータがクリップボードにコピーされます。

### 貼り付け (ショートカット キーのストローク: Ctrl + V)

このオプションを選ぶと、以前にクリップボードから切り取られた、または、コピーされたコマンドが、選択されたコマンドの下に貼り付けられます。

### パラメータの貼り付け (ショートカットキー: Ctrl + Alt + V)

このオプションは編集ウィンドウのカーソル位置にクリップボードからコピーされたパラメータを貼り付けます。

### 削除 (ショートカット キーのストローク: Del)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンド、及びすべてのサブ コマンドが、測定ルーチンから削除されます。

### パス | パスライン

このオプションは、選択した要素の範囲のみにパスラインを表示します。「CAD 表示の編集」の章の「パスラインの表示、アニメーション、および移動」を参照してください。

### パス | 衝突の検出...

このオプションはパスラインを表示し、選択された様々な要素のために衝突検出を実行します。「CAD表示の編集」の章の「衝突の検出」を参照して下さい。

### パス | ClearanceCube | オフ

ClearanceCube 要素をオフにします。

### パス | ClearanceCube | オン

ClearanceCube 要素をオンにします。

### パス | ClearanceCube | 開始面

このオプションでは、ユーザーは開始面を選択してClearanceCubeを整列することができます。オプションは-X, +X, -Y, +Y, -Z, +Z およびオフです。

### パス | ClearanceCube | 終了面

## ショートカットメニューについての参照

このオプションでは、ユーザーは終了面を選択してClearanceCubeを整列することができます。オプションは-X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z、チップベクトルの使用およびオフです。

### パス | パスの最適化

このオプションはGROUPコマンドを右クリックした場合にのみ表示されます。これはグループの内部機能のパス最適化を実行します。詳しくは、付録「PC-DMISでの検査プランの使用」の「接触プローブでの単一アームのパス最適化」を参照してください。

### 実行 | カーソルからの実行

このオプションは、カーソルの現在位置の点からルーチンを開始します。

### 実行 | ブロック実行

このオプションは、指定されたコードブロックを実行します。

### 編集 (ショートカット キーのストローク: F9)

このオプションは、現在のコマンド・オブジェクトのダイアログボックスが表示されます。

### 要素 | CAD からの理論値をアップデート

このオプションは、測定ルーチンの理論値をインポートされた CAD 理論値でアップデートします。

### 要素 | 公称値探索の上書き

このオプションを選択すると、学習モードと実行モード中のPC-DMISのデフォルトの公称値探索機能を上書きします。詳しい情報については、「測定ルーチンの編集」の章にある、「検索された公称値を上書き」を参照して下さい。

### 要素 | 測定値を理論値にリセット

このオプションはすべての測定値を測定ルーチンの理論値に設定します。

### 要素 | CAD で中心設定

このオプションはグラフィックの表示ウィンドウで、パートのCADモデルを必要に応じて現在の要素の中心に移動、回転します。いったん中心に置かれると、要素は2、3回点滅します。この移動および回転操作は元に戻すことはできません。

#### 要素 | CADでの強調表示 (ショートカットキー入力: Ctrl + Shift + H)

このオプションはグラフィックス表示のウィンドウで選んだ要素を強調します。もしそれが隠されるなら、それは同じく要素ラベルを表示して強調します。第一の要素のハイライトをクリアするには、第二の要素を強調表示します。

#### 要素 | CADでの非強調表示 (ショートカットキー キー入力: Ctrl + Shift + U)

このオプションは **CADでハイライト** メニュー項目を介してハイライトされた CAD 要素をクリアします。

#### 要素 | 要素へプローブを移動

このオプションは選別された要素のためにグラフィックス表示ウィンドウでアニメのプローブをCAD要素に移動します。ユーザが最初要素コマンドを選択するなら、それは選択だけに利用可能になります。他のコマンドは支援されません。

#### 要素 | SPH\_Tip1 へ移動

このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。選択した自動要素の中心へプローブを移動します。この操作は自動要素の自動作成ダイアログボックスの移動先ボタンと同じように機能します (挿入 | 要素 | 自動 | <要素タイプ>)。

#### 要素 | SPH\_TIP1 をテスト

このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。これは、選択された自動要素のテスト実行を行います。この操作は自動要素ダイアログボックスにあるテストボタンと同じように機能します。

#### 追加コマンド (ショートカットキーのストローク: Ctrl-Enter)

このオプションを使うと、[コマンドを追加する] ダイアログボックスで編集ウィンドウにコマンドを追加することができます。



**ステップ1:** 検索ボックスを使用してコマンドの最初の数文字を入力します。PC-DMISはフィルターされた一覧を表示します。

**ステップ2:** 一覧から、そのコマンドを選んで下さい。

**ステップ3:** 「CTRL + ENTER」か、または、「ENTER」のいずれかのキーを押し、編集ウィンドウ内にその新コマンドを配置して下さい。

- 「CTRL + ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンドブロック の後にコマンドを配置します。
- 「ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンドブロック の内部にコマンドを配置します。  
Enterキーがこのような機能するのは、ユーザーが追加するコマンドがPC-DMISが別のコマンドブロックに挿入できるコマンドタイプである場合のみです。それ以外の場合には、PC-DMISが、それをその時点のコマンドの後に挿入します。

## 要素 ID の名前を変更する

このオプションを使用すると、複数の要素IDの名前を同時に変更できます。

## グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

## グループを縮約

このオプションを選ぶと、拡大されたユーザー定義のグループすべてを縮約します。その他の拡大されたグループは、拡大されたまま留まります。

## グループを展開

このオプションは、すべての折りたたまれたユーザー定義のグループを展開します。他の折りたたまれたアイテムが折りたたまれたままにしてください。

## 画像をドッキング

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウがドッキングするか、ドッキング解除をするかを決めます。

- このオプションを選択解除すると、編集ウィンドウはグラフィック表示ウィンドウ上に浮いて表示されます。
- このオプションを選ぶと、編集ウィンドウをグラフィックス表示ウィンドウの側面か最上部か、または、底部にドッキングすることができます。

ユーザーインターフェイスエレメントのドックおよびドック解除を行う方法について詳しくは、「ユーザーインターフェイスエレメントのドックおよびドック解除」を参照してください。

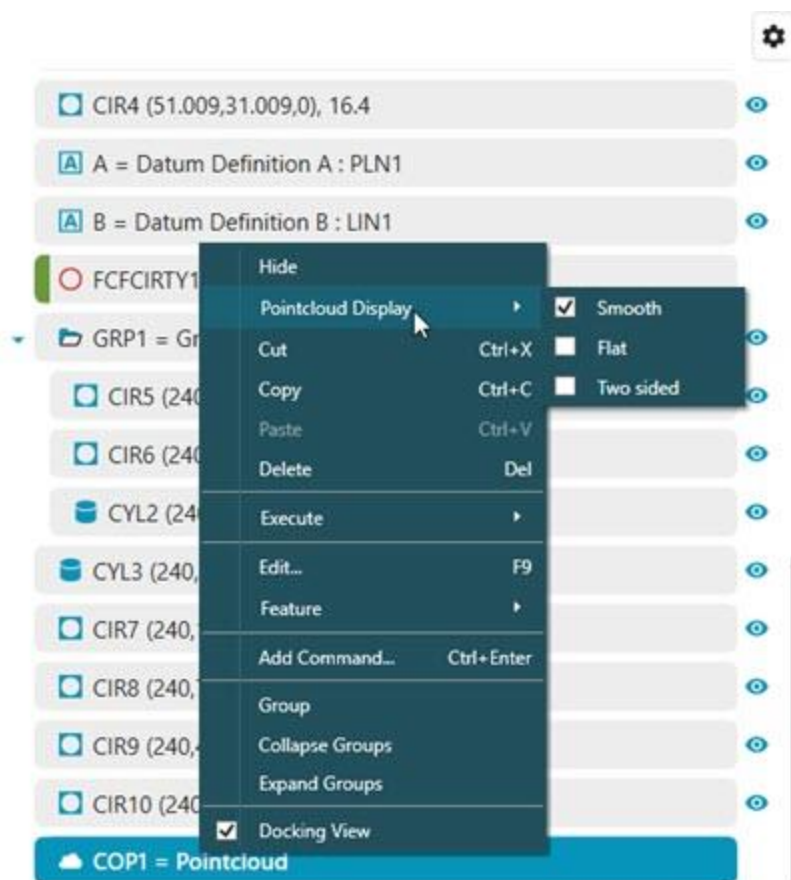
## 要約モード コマンド ショートカット メニュー

要約モードにおいて編集ウィンドウでコマンド項目を選択し（「編集ウィンドウの使用」章の「要約モードでの操作」を参照）、コマンド項目を右クリックすると、コマンドショートカットメニューのオプションが選択したコマンドの種類（一般、ポイントクラウド、ポイントクラウド断面演算子またはメッシュ）に応じて変化します。

### ポイントクラウドコマンド

ポイントクラウドコマンドで以下のショートカットメニューが表示されます。

## ショートカットメニューについての参照



### ポイントクラウドコマンドショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

#### 表示または非表示

このオプションは表示と非表示間のラベルを切り換えます。また、このオプションはMeshコマンドで使用できます。

#### ポイントクラウドの表示

- **スムーズ** : このオプションは定義されたCOPカラーを使用して影付きの外観を提供します。
- **フラット** - このオプションは影無しのグラフィカル表示で点群を表示します。この選択には、最小量のグラフィックメモリが必要です。
- **両面** : このオプションはスキャンされたパートの側面が定義済みCOPカラーであり、非スキャン側がコントラストのある色である影付きの外観を表示します。

- **メッシュ表示**：このオプションはメッシュ表示としてポイントクラウドを表示します。



メッシュ表示オプションは、メッシュライセンスを所持しており、メッシュ表示オプション (ポータブルのみ) を使用して点群をスキャンした場合にのみ使用できます。詳細は、PC-DMIS Laserドキュメントの「ポイントクラウド表示の項」を参照してください。

メッシュ表示は表示設定のみです。基になるデータは点群です。

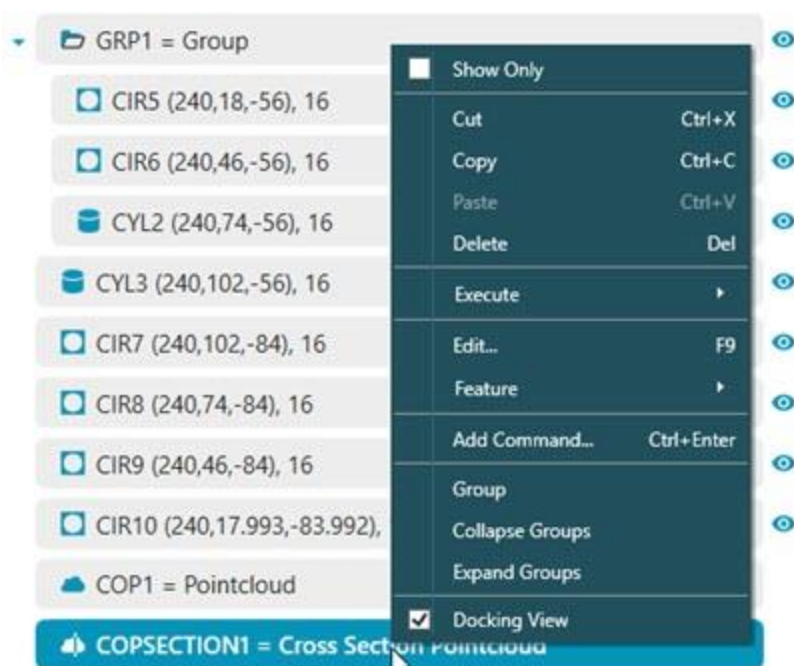
但し、COPを編集する場合 (例えば、点群でCOP操作を実行する場合)、メッシュ表示がなくなり、表示は点に戻ります。

ポイントクラウド表示オプションについて詳しくは、PC-DMIS Laserドキュメントの「ポイントクラウドのグラフィック表現」を参照してください。

## ポイントクラウド断面演算子コマンド

ポイントクラウド断面演算子コマンドでは以下のショートカットメニューが表示されます。

## ショートカットメニューについての参照



ポイントクラウド断面演算子コマンドのショートカットメニュー

### 選択のみ表示

このオプションは、選択した断面の2Dビューを表示します。このオプションを有効にすると、PC-DMISの左側にチェックマークが表示されます。詳細については、PC-DMIS Laserドキュメントの「断面の2Dビュー (2次元ビュー)」を参照してください。

## 要約モード コマンド ショートカット メニュー

ユーザが編集ウィンドウの要約モード (「編集ウィンドウの使用」の章の「要約モードを使用した操作」を参照) でコマンド項目を選択して、コマンド項目の上で右クリックすると、コマンドショートカット・メニューが現れます。このメニューには、以下のオプションがあります:

Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Copy Parameters	Ctrl+Alt+C
Paste	Ctrl+V
Paste Parameters	Ctrl+Alt+V
Delete	Del
Path	▶
Execute	▶
Edit...	F9
Feature	▶
Add Command...	Ctrl+Enter
Rename Feature IDs...	
Group	
Collapse Groups	
Expand Groups	
<input checked="" type="checkbox"/> Docking View	

要約モード コマンド ショートカット メニュー

以下のオプションが利用できます:

#### 切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl + X)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードから切り取られ、測定ルーチンから除去されます。

#### コピー (ショートカット キーのストローク: Ctrl + C)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードにコピーされます。

#### パラメーターのコピー (ショートカットキー: Ctrl + Alt + C)

このオプションを選ぶと、選択されたパラメータがクリップボードにコピーされます。

### 貼り付け (ショートカット キーのストローク: Ctrl + V)

このオプションを選ぶと、以前にクリップボードから切り取られた、または、コピーされたコマンドが、選択されたコマンドの下に貼り付けられます。

### パラメータの貼り付け (ショートカットキー: Ctrl + Alt + V)

このオプションは編集ウィンドウのカーソル位置にクリップボードからコピーされたパラメータを貼り付けます。

### 削除 (ショートカット キーのストローク: Del)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンド、及びすべてのサブ コマンドが、測定ルーチンから削除されます。

### パス | パスライン

このオプションは、選択した要素の範囲のみにパスラインを表示します。「CAD 表示の編集」の章の「パスラインの表示、アニメーション、および移動」を参照してください。

### パス | 衝突の検出...

このオプションはパスラインを表示し、選択された様々な要素のために衝突検出を実行します。「CAD表示の編集」の章の「衝突の検出」を参照して下さい。

### パス | ClearanceCube | オフ

ClearanceCube 要素をオフにします。

### パス | ClearanceCube | オン

ClearanceCube 要素をオンにします。

### パス | ClearanceCube | 開始面

このオプションでは、ユーザーは開始面を選択してClearanceCubeを整列することができます。オプションは-X, +X, -Y, +Y, -Z, +Z およびオフです。

### パス | ClearanceCube | 終了面

このオプションでは、ユーザーは終了面を選択してClearanceCubeを整列することができます。オプションは-X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z、チップベクトルの使用およびオフです。

### パス | パスの最適化

このオプションはGROUPコマンドを右クリックした場合にのみ表示されます。これはグループの内部機能のパス最適化を実行します。詳しくは、付録「PC-DMISでの検査プランの使用」の「接触プローブでの単一アームのパス最適化」を参照してください。

### 実行 | カーソルからの実行

このオプションは、カーソルの現在位置の点からルーチンを開始します。

### 実行 | ブロック実行

このオプションは、指定されたコードブロックを実行します。

### 編集 (ショートカット キーのストローク: F9)

このオプションは、現在のコマンド・オブジェクトのダイアログボックスが表示されます。

### 要素 | CAD からの理論値をアップデート

このオプションは、測定ルーチンの理論値をインポートされた CAD 理論値でアップデートします。

### 要素 | 公称値探索の上書き

このオプションを選択すると、学習モードと実行モード中のPC-DMISのデフォルトの公称値検索機能を上書きします。詳しい情報については、「測定ルーチンの編集」の章にある、「検索された公称値を上書き」を参照して下さい。

### 要素 | 測定値を理論値にリセット

このオプションはすべての測定値を測定ルーチンの理論値に設定します。

### 要素 | CAD で中心設定



このオプションはグラフィックの表示ウィンドウで、パートのCADモデルを必要に応じて現在の要素の中心に移動、回転します。いったん中心に置かれると、要素は2、3回点減します。この移動および回転操作は元に戻すことはできません。

### 要素 | CADでの強調表示 (ショートカットキー入力: Ctrl + Shift + H)

このオプションはグラフィックス表示のウィンドウで選んだ要素を強調します。もしそれが隠されるなら、それは同じく要素ラベルを表示して強調します。第一の要素のハイライトをクリアするには、第二の要素を強調表示します。

### 要素 | CADでの非強調表示 (ショートカットキー キー入力: Ctrl + Shift + U)

このオプションは **CADでハイライト** メニュー項目を介してハイライトされた CAD 要素をクリアします。

### 要素 | 要素へプローブを移動

このオプションは選別された要素のためにグラフィックス表示ウィンドウでアニメのプローブをCAD要素に移動します。ユーザが最初要素コマンドを選択するなら、それは選択だけに利用可能になります。他のコマンドは支援されません。

### 要素 | SPH\_Tip1 へ移動

このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。選択した自動要素の中心へプローブを移動します。この操作は自動要素の自動作成ダイアログボックスの移動先ボタンと同じように機能します (挿入 | 要素 | 自動 | <要素タイプ>)。

### 要素 | SPH\_TIP1 をテスト

このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。これは、選択された自動要素のテスト実行を行います。この操作は自動要素ダイアログボックスにあるテストボタンと同じように機能します。

### 追加コマンド (ショートカットキーのストローク: Ctrl-Enter)

このオプションを使うと、[コマンドを追加する] ダイアログボックスで編集ウィンドウにコマンドを追加することができます。

**ステップ1:** 検索ボックスを使用してコマンドの最初の数文字を入力します。PC-DMISはフィルターされた一覧を表示します。

**ステップ2:** 一覧から、そのコマンドを選んで下さい。

**ステップ3:** 「CTRL + ENTER」か、または、「ENTER」のいずれかのキーを押し、編集ウィンドウ内にその新コマンドを配置して下さい。

- 「CTRL + ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンド ブロック の後にコマンドを配置します。
- 「ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンド ブロック の内部にコマンドを配置します。  
Enterキーがこのような機能するのは、ユーザーが追加するコマンドがPC-DMISが別のコマンドブロックに挿入できるコマンドタイプである場合のみです。それ以外の場合には、PC-DMISが、それをその時点のコマンドの後に挿入します。

## 要素 ID の名前を変更する

このオプションを使用すると、複数の要素IDの名前を同時に変更できます。

## グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

## グループを縮約

このオプションを選ぶと、拡大されたユーザー定義のグループすべてを縮約します。その他の拡大されたグループは、拡大されたまま留まります。

## グループを展開

このオプションは、すべての折りたたまれたユーザー定義のグループを展開します。他の折りたたまれたアイテムが折りたたまれたままにしてください。

## 画像をドッキング

## ショートカットメニューについての参照

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウがドッキングするか、ドッキング解除をするかを決めます。

- このオプションを選択解除すると、編集ウィンドウはグラフィック表示ウィンドウ上に浮いて表示されます。
- このオプションを選ぶと、編集ウィンドウをグラフィックス表示ウィンドウの側面か最上部か、または、底部にドッキングすることができます。

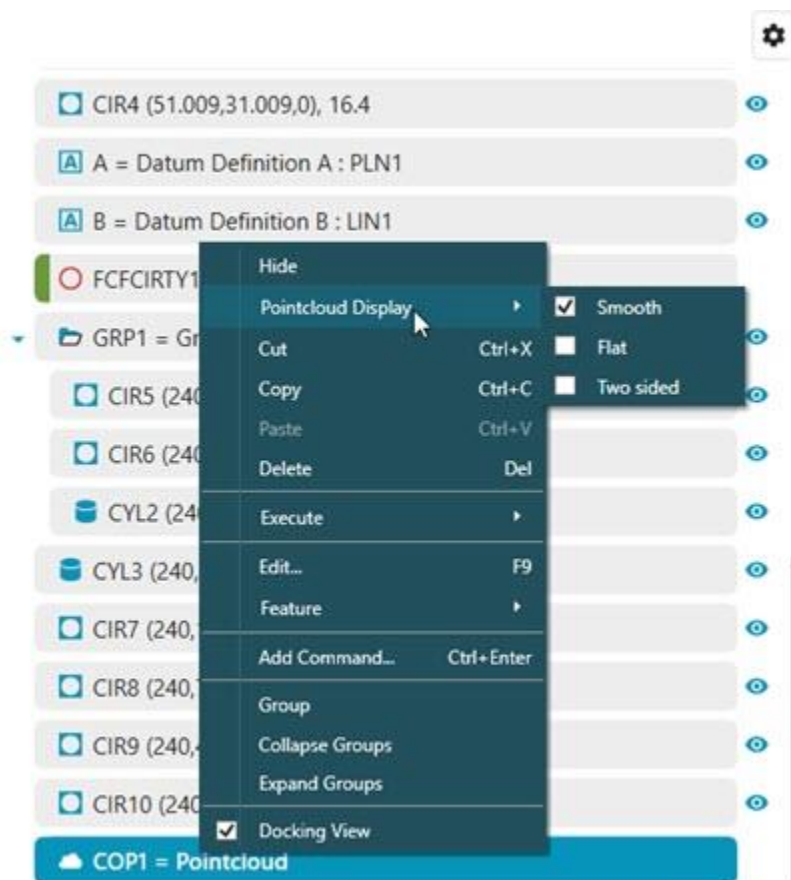
ユーザーインターフェイスエレメントのドックおよびドック解除を行う方法について詳しくは、「ユーザーインターフェイスエレメントのドックおよびドック解除」を参照してください。

## 要約モード コマンド ショートカット メニュー

要約モードにおいて編集ウィンドウでコマンド項目を選択し（「編集ウィンドウの使用」章の「要約モードでの操作」を参照）、コマンド項目を右クリックすると、コマンドショートカットメニューのオプションが選択したコマンドの種類（一般、ポイントクラウド、ポイントクラウド断面演算子またはメッシュ）に応じて変化します。

### ポイントクラウドコマンド

ポイントクラウドコマンドで以下のショートカットメニューが表示されます。



ポイントクラウドコマンドショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

### 表示または非表示

このオプションは表示と非表示間のラベルを切り換えます。また、このオプションはMeshコマンドで使用できます。

### ポイントクラウドの表示

- **スムーズ** : このオプションは定義されたCOPカラーを使用して影付きの外観を提供します。
- **フラット** - このオプションは影無しのグラフィカル表示で点群を表示します。この選択には、最小量のグラフィックメモリが必要です。
- **両面** : このオプションはスキャンされたパートの側面が定義済みCOPカラーであり、非スキャン側がコントラストのある色である影付きの外観を表示します。

## ショートカットメニューについての参照

- **メッシュ表示**：このオプションはメッシュ表示としてポイントクラウドを表示します。



メッシュ表示オプションは、メッシュライセンスを所持しており、メッシュ表示オプション (ポータブルのみ) を使用して点群をスキャンした場合にのみ使用できます。詳細は、PC-DMIS Laserドキュメントの「ポイントクラウド表示の項」を参照してください。

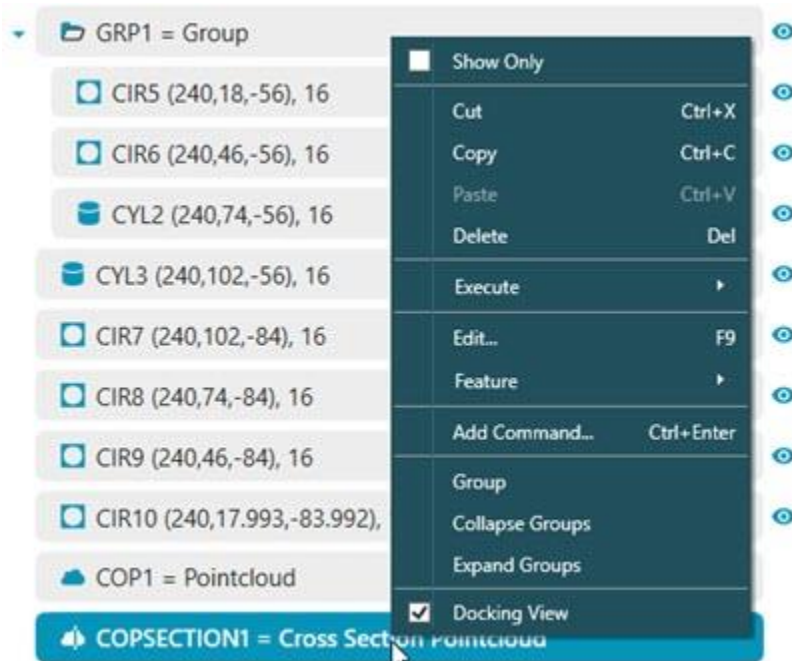
メッシュ表示は表示設定のみです。基になるデータは点群です。

但し、COPを編集する場合 (例えば、点群でCOP操作を実行する場合)、メッシュ表示がなくなり、表示は点に戻ります。

ポイントクラウド表示オプションについて詳しくは、PC-DMIS Laserドキュメントの「ポイントクラウドのグラフィック表現」を参照してください。

## ポイントクラウド断面演算子コマンド

ポイントクラウド断面演算子コマンドでは以下のショートカットメニューが表示されます。



ポイントクラウド断面演算子コマンドのショートカットメニュー

### 選択のみ表示

このオプションは、選択した断面の2Dビューを表示します。このオプションを有効にすると、PC-DMISの左側にチェックマークが表示されます。詳細については、PC-DMIS Laserドキュメントの「断面の2Dビュー (2次元ビュー)」を参照してください。

### コマンドモードでのショートカットメニュー

次のショートカットメニューオプションはPC-DMISがコマンドモードの時に利用可能です。これらのモードに関する、より詳しい情報については、「編集ウィンドウの使用」の章にある「コマンドモードでの作業」を参照して下さい。

## ショートカットメニューについての参照

Select Command	
Select Block	
Jump to	Ctrl+J
Jump back	Alt+J
Path	▶
Execute	▶
Edit...	F9
Feature	▶
BookMark	Ctrl+F2
Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Copy Parameters	Ctrl+Alt+C
Paste	Ctrl+V
Paste Parameters	Ctrl+Alt+V
Group	
Collapse Groups	
Expand Groups	
<input checked="" type="checkbox"/> Docking View	
Change Pop-up Display	▶

以下のオプションが利用できます:

### コマンドの選択

このオプションはマウスを上にしたコマンドを強調表示します。

### ブロックを選択

マウスが開始または終了オブジェクトの上にある場合、ブロック全体を選択します。

### <要素>にジャンプ (ショートカットキーのストローク: Ctrl + J)

このオプションを選ぶと、その時点でのコマンドから、参照されているフィーチャー ID に飛び移ります。

### 後方にジャンプ (ショートカットキーのストローク: Alt + J)

このオプションを選択すると、[ジャンプ先]オプションを選択する前にいたコマンドまで戻ります。

## パス | パスライン

このオプションは、選択した要素の範囲のみにパスラインを表示します。「CAD 表示の編集」の章の「パスラインの表示、アニメーション、および移動」を参照してください。

## パス | 衝突の検出...

このオプションはパスラインを表示し、選択された様々な要素のために衝突検出を実行します。「CAD表示の編集」の章の「衝突の検出」を参照して下さい。

## パス | ClearanceCube | 開始面

**ClearanceCube | 開始面** オプションで、要素の測定前に PC-DMISが移動する ClearanceCube 面を決定します。利用可能な設定は -X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z およびオフです。

## パス | ClearanceCube | 終了面

**ClearanceCube | 終了面** オプションで、要素の測定後に PC-DMISが移動する ClearanceCube 面を決定します。利用可能な設定は -X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z およびオフです。

## パス | パスの最適化

このオプションはGROUPコマンドを右クリックした場合にのみ表示されます。これはグループの内部機能のパス最適化を実行します。詳しくは、付録「PC-DMISで検査プランを使用」の「パスの最適化」を参照してください。

## 実行 | マーク (ショートカット キーのストローク: F3)

このオプションを選ぶと、そのオブジェクトを実行用にマークするか否か、マークの有無をトグル操作できます。マークに関する詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「マーク」を参照して下さい。

## 実行 | 開始点として設定

このオプションでは、[ファイル | 一部実行 | 開始点からの実行]メニュー オプションを選ぶと、測定プログラム実行が開始する開始位置を決定できます。「測定ルーチンの編集」章の「開始点の設定」を参照して下さい。



### 実行 | カーソルからの実行

このオプションを選択すると、編集ウィンドウの現在の位置の挿入点から実行を開始します。

### 実行 | ブロック実行

このオプションを選択すると、現在マークされたコマンドブロックが実行されます。

### 実行 | ブレークポイント

このオプションを選択すると、カーソルの位置にブレークポイントが挿入されます。ブレークポイントのより詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「ブレークポイントの使用」を参照して下さい。

### 編集 (ショートカット キーのストローク: F9)

これによってダイアログボックスが表示され、カーソルが位置するコマンドを編集することができます。

### 要素 | CAD からの理論値をアップデート

このオプションは測定プログラムの設計値をインポートされたCAD設計値で更新します。

### 要素 | 公称値探索の上書き

このオプションを選択すると [設計値検索を上書き] ダイアログ ボックスにアクセスして、編集ウィンドウで右クリックした点に対するデフォルトの設計値探索の動作方法を上書きできます。詳しい情報については、「測定ルーチンの編集」の章にある、「検索された公称値を上書き」を参照して下さい。

### 要素 | 測定値を理論値にリセット

このオプションはすべての測定値を測定プログラムの設計上の値に設定します。

### 要素 | CAD で中心設定

このオプションはグラフィックの表示ウィンドウで、パートのCADモデルを必要に応じて現在の要素の中心に移動、回転します。いったん中心に置か

れると、要素は2、3回点減します。この移動および回転操作は元に戻すことはできません。

#### 要素 | CAD でハイライト

このオプションはグラフィックス表示のウインドウで選んだ要素を強調します。もしそれが隠されるなら、それは同じく要素ラベルを表示して強調します。第2の要素を強調することはハイライトから最初の要素を取り去ります。

#### 要素 | CAD でハイライト解除

このオプションは上記の **CADでハイライト** メニュー項目を使って作られたハイライトされた CAD 要素をクリアします。

#### 要素 | 要素へプローブを移動

このオプションは選別された要素のためにグラフィックス表示ウインドウでアニメのプローブをCAD要素に移動します。ユーザが最初要素コマンドを選択するなら、それは選択だけに利用可能になります。他のコマンドは支援されません。

#### 要素 | 要素 (複数を含む) を非表示にする

このオプションで、グラフィック表示ウィンドウで選択した要素コマンドおよびそれらのIDの表示を切り換えることができます。また、これをGROUPコマンドで使用して、グループ内の要素の表示を切り換えることができます。

これに対するショートカットはCtrl + Shift + Fです。

#### 要素 | <要素> をテスト

このオプションは、*自動要素を右クリックした場合のみに表示されます*。これは、選択された自動要素のテスト実行を行います。これは、**自動要素ダイアログボックス**にある**テストボタン**と同じように機能します。

#### 要素 | <要素> へ移動

このオプションは、*自動要素を右クリックした場合のみに表示されます*。選択した自動要素の中心へプローブを移動します。これは、**自要素の自動作成ダイアログボックス**にある**移動先ボタン**と同じように機能します。

### ブックマーク (ショートカットキーのストローク: Ctrl + F2)

このオプションを選択すると、カーソルの位置にブックマークが挿入されます。ブックマークの詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「ブックマークの使用」を参照して下さい。

### 切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl + X)

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウで選択したテキストが切り取られクリップボードにコピーされます。編集ウィンドウで切り取りを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「切り取り」を参照して下さい。

### コピー (ショートカット キーのストローク: Ctrl + C)

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウで選択したテキストがクリップボードにコピーされます。編集ウィンドウでコピーを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「コピー」を参照して下さい。

### 貼り付け (ショートカット キーのストローク: Ctrl + V)

このオプションを選ぶと、クリップボードから編集ウィンドウのカーソル位置へテキストが貼り付けられます。編集ウィンドウで貼り付けを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「貼り付け」を参照して下さい。

### グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、選択された一連のコマンドの一覧を挿入します。

### グループを縮約

このオプションを選ぶと、拡大されたユーザー定義のグループすべてを縮約します。その他の拡大されたグループは、拡大されたまま留まります。

### グループを展開

このオプションは、すべての折りたたまれたユーザー定義のグループを展開します。他の折りたたまれたアイテムが折りたたまれたままにしてください。

## 画像をドッキング

「要約モードのコマンドショートカットメニュー」にある説明を参照して下さい。

### ポップアップ表示の変更 | 式の値

1. [式の値]を選択します。
2. カーソルを式の上に少しの間置きます。
3. 小さなポップアップウィンドウが現れ、式の現在の値が表示されます。

### ポップアップ表示の変更 | データタイプの情報

1. [データ種類の情報]を選択します。
2. カーソルをデータフィールドの上に少しの間置きます。
3. 小さなポップアップウィンドウが現れ、データ型の説明、データ型の番号、および型インデックスを含むデータフィールド情報を表示します。

このポップアップウィンドウに表示される情報はGETTEXT 式で使用されます。「入力式及び変数の使用」の章を参照して下さい。

### ポップアップ表示の変更 | コマンド情報

1. [コマンド情報]を選択します。
2. カーソルを編集ウィンドウの任意のコマンドの上に少しの間置きます。

小さなポップアップウィンドウが現れ、コマンドの説明およびコマンドタイプの番号を表示します。このポップアップウィンドウに表示される情報はGETCOMMAND 式で使用されます。「入力式及び変数の使用」の章を参照して下さい。

## オブジェクト

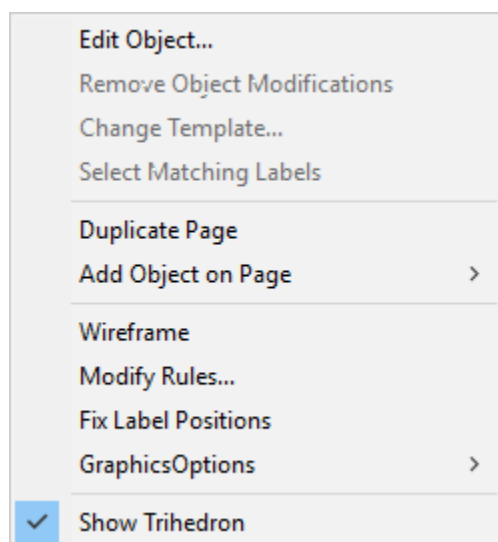
このメニューオプションは編集ウィンドウに外部オブジェクトを挿入するまでは利用できません。これを行う方法については、「外部要素の追加」章にある「外部オブジェクトの挿入」を参照して下さい。

## ショートカットメニューについての参照

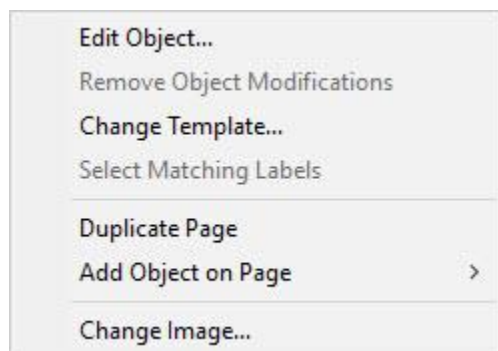
編集ウィンドウに追加された外部オブジェクトを選択し、それを右クリックすると、このメニューがその特定のオブジェクトに固有のオプションを反映するよう変更されます。これらには、オブジェクトを開く、オブジェクトの編集、または単にオブジェクトのプロパティの変更などのオプションも含まれます。

## レポート ウィンドウでのショートカット メニュー

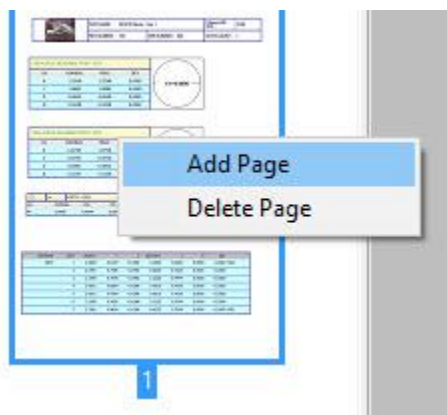
レポートウィンドウを右クリックすると、PC-DMISはレポートウィンドウ内でのオブジェクトの表示方法を左右するメニュー項目のあるショートカットメニューを表示します。あるメニュー項目は、レポート ウィンドウ内で、特定のオブジェクトを右クリックした場合にのみ表示されます。レポート ウィンドウのショートカット メニューからアクセスできる、各種のメニュー項目が下記の表で記述されています:



### レポートのグラフィック表示 - ショートカットメニュー



### レポートヘッダー - ショートカットメニュー



プレビューページにおけるカスタムレポートのサムネイル画像上へのマウスポインタでのショートカットメニュー

### オブジェクトの編集

このオプションを選ぶと、レポート ウィンドウ内のその時点でのオブジェクトを、デフォルトの状態から変更します。

- レポートウィンドウでラベルオブジェクトを右クリックすると、ラベルプロパティダイアログボックスが表示され、そのラベルを変更することができます。
- テキストレポートオブジェクト (基本的にレポートの末尾にある任意の白色空白テキストまたは非テーブル様レポートテキスト) を右クリックすると、レポートダイアログボックスが表示され、レポートに含まれる内容を決定することができます。



**Shift**を押して任意のラベルオブジェクトを右クリックし、レポートダイアログボックスを表示することができます。

詳しい情報については、「測定結果のレポート」の章にある「レポート ウィンドウの内容変更」を参照して下さい。

### 選択されたらべるを隠す

このオプションを選ぶと、CadReportObjectと共に使用されて、選択されたラベルすべてを隠します。隠す予定のラベルを選択し、その後、このメニュー項目を表示するために、選択されたラベルのひとつを右クリックして下さい。一度に複数のラベルを選択するには、希望のラベルの周りのボックスをマウスでドラッグするか、またはCtrl キーを押しながら希望のラベルをクリックします。

### 隠されたラベルを表示

このオプションを選ぶと、隠されたラベルがすべて表示されます。このメニュー項目を表示するには、CADレポートオブジェクトを右クリックして下さい。

### オブジェクトを削除する

このオプションは、選択されたラベルオブジェクトまたはページにオブジェクトを追加サブメニューを使用してユーザーが追加した断面切断プロファイルオブジェクトを削除します。



選択したオブジェクトを削除しようとするときに**Delete**キーを使用しないでください。それを行うと代りに、編集ウィンドウで選択したコマンドが削除されます。

### オブジェクトの変更を削除

このオプションを選択すると、右クリックしたオブジェクトが元の状態に戻り、[オブジェクトの編集]メニュー項目を使用して行った変更、またはサポートされているオブジェクトのサイズ変更または位置変更をして行なった変更が削除されます。

### テンプレートの変更

このオプションを選ぶと、開くダイアログボックスが表示され、表示用のテンプレートを変更し、元となるコマンドからのデータの書式整形を行うことができます。そのコマンドと共に機能するよう指定されたテンプレートのみがダイアログボックスに表示されます。

このオプションを使用する場合(適合ラベルの選択メニュー項目の使用後など)、複数のラベルが選択されている場合、PC-DMISはラベルの変更をすべての選択されたラベルに適用します。

### 一致ラベルを選択

このオプションは、ラベルを右クリックした時に現れます。このオプションはユーザーがクリックしたラベルと同じラベルテンプレートを使用する現在のページにあるすべてのラベルを選択します。

### ページの複製

このオプションを選ぶと、右クリックされたページと同じページが即座に、その時点でのページに続いて作成されます。これは、複数ページにまたがる1ページに収まらないラベルを整理するのに役立つ場合があります。

複製されたページの左上部分に赤い十字のアイコンが表示されます。





この方法を使用して、複数の断面ビューをレポートに挿入できます。

### 画像の変更

このオプションはヘッダのラベルテンプレート (FILE\_HEADER.LBLなど) を右クリックするとメニューに表示されます。このオプションを選択すると、**開く**ダイアログボックスを使用してレポートのヘッダ用に新しい画像を選択できます。新しい画像を特定して**開く**をクリックすると、レポートはその画像を使用します。また、この操作によって基本的なラベルテンプレート (.lbl) が新しい画像で更新されます。

### ページのオブジェクトを追加 | カスタム ラベル

このメニュー項目を用いて、アクティブ レポート内に、カスタム ラベル オブジェクトをすばやく挿入できます。この形式のラベル挿入プロセスは、規則系統図エディタとは全く連結していません。

このメニュー項目を選び、それから、レポート ウィンドウ内でボックスをドラッグして描いて下さい。**開く**ダイアログボックスが表示され、選択されたラベルテンプレートをレポートのその時点のページ内にすばやく挿入することができます。

### CADレポートオブジェクトの移動/ズーム/回転 MODを取り除く

このメニュー項目では、CADReportObject に加えたパン、ズーム、および回転の変更のみを削除できます。その他の変更(切断面、様々なラベル定義、立体またはワイヤ表示など)は影響を受けません。

### ラベルの選択

このメニュー項目はユーザの報告で異なったセクション間に容易に複数のラベルを選択することを許します。

この項目を選択すると、PC-DMISは[ラベルの選択]ダイアログ ボックスを表示します。このダイアログ ボックスには CADReportObject と結び付けられているレポートのラベルが表示されます。このダイアログボックスから任意のラベルを選択し、ダイアログボックスの[OK]をクリックすると、PC-DMISはレポート内で対応するラベルを選択します。

ダイアログボックスに表示されるラベルは要素タイプ、寸法タイプまたはすべてのコマンドによって制限できます。

詳しい情報については、「測定結果のレポート」の章にある「レポート ウィンドウの内容変更」を参照して下さい。

### ワイヤーフレーム

このメニュー項目はモデルをワイヤーフレームまたは立体として表示することによって、選択されたCADReportObjectの表示を切り替えます。このメニュー項目は、レポート内のCADレポートオブジェクトを右クリックした場合にのみ、表示されます。

### ルールを修正

このメニュー項目はルール ツリー エディタダイアログボックスの簡易型のバージョンを表示します。ユーザーはこのダイアログボックスの無効または有効オプションを使用して、規則をオンまたはオフにすることができます。

### 以前使用されていないラベルを表示

このメニュー項目は重複したページにあるCADReportObjectのラベルで機能します。

ユーザが1ページのCadReportObjectの上の1セットのラベルをオフにして、次に、そのページをコピーする場合には、ユーザはオリジナルのページで使用されないラベルを見せさせるのに、コピーされたページでこのメニュー項目を使用できます。

### ラベル位置を固定

このメニュー項目は各ラベルの位置変更を作成し、ユーザーがレポートを次に開くときに、PC-DMISがラベル位置を再計算しないようにします。

### グラフィックスオプション | なし

このメニュー項目は、CADReportObject (CADレポートオブジェクト) でのすべてのラベルを非表示にします。

### グラフィックスオプション | ラベル

このメニュー項目はCADReportObject (CADレポートオブジェクト) でのすべてのラベルを表示します。

### ページの追加 (カスタムレポートにのみ適用されます)

このメニュー項目は新しいページをカスタムレポートの最後に追加します。

### ページの削除 (カスタムレポートにのみ適用されます)

このメニュー項目はカスタムレポートからそのページを削除します。レポートには常に1ページ以上がなくてははいけません。